

早島町議会だより

平成29年12月1日
第58号

CONTENTS

9月定例議会概要.....	2～3P
決算審査特別委員会.....	4～5P
常任委員会.....	6P
議会活動報告.....	7P
一般質問.....	8～15P
民生・児童委員紹介.....	16P

一般会計補正予算 4554万円増額

9月定例議会は9月20日から9月29日までの会期で開かれ、
条例の一部改正や平成29年度補正予算など6議案が可決されました。

議案審議の主なもの

◆専決処分の承認を求めること について平成29年度早島町一 般会計補正予算(第2号)

法人町民税の確定申告において、予定納税額が確定申告額を上回り過納金が生じる法人が当初の見込みよりも増加し、また、早島小学校調理場において、既設の牛乳保冷庫が故障し、保存温度の設定ができず、修理が不可能であることが判明した。

これらに対応するための予算計上する必要が生じたが、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから専決処分を行った。

◆専決処分の承認を求めること について平成29年度早島町一 般会計補正予算(第3号)

臨時福祉給付金(経済対策分)について、当初の見込みよりも申請件数が増加。また、早島中学校給食調理場において、既設の真空

冷却機が故障し冷却温度の設定ができず、修理が不可能であることが判明した。

これらに対応するための予算計上が生じたが、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから専決処分を行った。

専決処分

- ・小学校牛乳保冷庫の購入(78万円)
- ・中学校真空冷却機の購入(248万円)

補正予算の主なもの

- ・交通事故による街灯修繕費(690万円)
- ・住民票などに旧姓を併記できるようにする電算システム改修費(370万円)
- ・教育の負担軽減に向けて中学校で10月以降に採用予定の部活動支援員10人の人件費(170万円) など

◆平成28年度決算について

- ・認定案第1号 平成28年度早島町一般会計歳入歳出決算について
- ・認定案第2号 平成28年度早島町国民健康保険特別会計歳入歳

出決算について

- ・認定案第3号 平成28年度早島町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算について
- ・認定案第4号 平成28年度早島町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算について

- ・認定案第5号 平成28年度早島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
- ・認定案第6号 平成28年度早島町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算について

- ・認定案第7号 平成28年度早島町水道事業会計決算については、決算特別委員会で慎重に審議され、原案通り可決した。

◆条例の一部改正

- ・非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

部活動支援員(中学校)の任用について必要な事項を定めるため条例を改正する必要がある。非常

勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和42年3月9日制定）の一部を次のように改正する。（※1参照）

◆補正予算

- 平成29年度早島町一般会計補正予算（第4号）について
- 平成29年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）について

• 平成29年度早島町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）について
 予算を可決した。

◆平成28年度早島町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について（※2参照）

町の財政状況を示す4つの指標の報告があり特に指摘すべき事項がなく健全な状況です。

※1

非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例新旧対照表

現 行	
区 分	報酬の額
その他必要により設置されるもの	// 5,600円
嘱託員及びこれに準ずるもの	月 額 375,000円以内

改正案	
区 分	報酬の額
その他必要により設置されるもの	// 5,600円
部活動支援員	時間額 1,060円
嘱託員及びこれに準ずるもの	月 額 375,000円以内

※2

健全化判断比率	平成28年度 (%)	早期健全化基準 (%)
①実質赤字比率	—	15.0
②連結実質赤字比率	—	20.0
③実質公債費比率	6.9	25.0
④将来負担比率	23.1	350.0

実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合「—」を記入

公共下水道事業特別会計

比 率 名	平成28年度 (%)	早期健全化基準 (%)
①資金不足比率	—	20.0

公営企業ごとの資金不足がない場合は「—」を記入

水道事業会計

比 率 名	平成28年度 (%)	早期健全化基準 (%)
①資金不足比率	—	20.0

公営企業ごとの資金不足がない場合は「—」を記入

平成28年度 決算審査

9月議会にて選任された決算審査特別委員会は9月25日、9月27日の2日間で行い、平成28年度早島町一般会計歳入歳出決算、他6認定案を原案の通り認定した。

一般会計歳入歳出決算認定案の討論があり 賛成多数で認定

反対討論

画家と名乗る人から寄贈された絵画に対し、材料代を町長交際費から支出した。積算根拠も明確でない。このような前例をつくると今後にもこのような事態がおこる。断じて看過できない。

賛成討論

町長交際費から寄贈された絵画の材料代を支出することは不適切だが、二度とこのような支出にならないよう今後明確な支出基準を策定するとの答弁があり、賛成する。

主な質疑・答弁

一般会計・歳入

- Q 昨年と比べて不能欠損が少なくなっているが。
- A 大口の滞納が少なくなっているため。
- Q 町税の今後はどう考えているか。
- A ダイワハウス、山陽新聞社等の立地で増を見込んでいる。

- Q ハローズ他の固定資産税はいくら位か。
- A 流通関係で合わせて3億円位。
- Q 観光センターの今後の考えはどうか。
- A 指定管理者制度とし様々な利用方法を考え12月位に方向は出させていただきたいと思う。
- Q 観光センターの在庫はどうなっているのか。
- A 委託であり在庫として持っていない。

一般会計・歳出

- Q 町長交際費の絵画材料代の45,000円とは何か。
- A ブランド発見伝を見た人から絵画を頂いたが、材料代をということで支払った。
- Q 環境省と市町村長との交流会に職員が随行したと聞いているが費用はどうしたのか。
- A 職員は参加したが飲食は個人で支払った。
- Q 職員の超過勤務手当が増加しているがなぜか。
- A 働き方改革を進めているところだ。
- Q 若者定住促進事業の今後の考えはどうか。
- A 現在住まれている人に住み続けていただきたい町を考えていく。
- Q コミニティバスの故障が多いが今後の考えはどうか。
- A 現在約45万キロ走行しており、



観光センター



駅前駐車場

- 60万キロまでにどのようにするか、早めに考えていく。
- Q リサイクル資源で紙などの重いものを公民館等へ持っていくための対策は考えているのか。
- A 自治会の資源であり自治会との話し合いが必要。
- Q 土木費の公園維持費がふえたのは何か。
- A すべての公園が建設農林課所管となったため。
- Q 町営住宅の不具合は、その後あるのか。
- A 手直し以降、問題提起はない。
- Q 草刈りがふえているがなぜか。
- A 住民から指摘を受け草刈りの範囲をふやしたため。
- Q 駅前の駐車場の定期使用はどうなっているのか。
- A 83台のスペースがあるが定期使用は25台中、20台。
- Q 草刈り中に土木委員他、ケガを

平成28年度 決算審査

9月22日、9月23日 平成28年度決算審査特別委員会を開催し、全会計の決算を承認しました。
主な決算値は、広報はやしま11月号をご参照ください。

経常収支比率の推移とその内訳

(単位：千円)

地方自治体の財政の弾力性を示す指標として利用される。計算式：経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額×100

	平成26年		平成27年		平成28年	
経常収支比率	92.10%		92.90%		92.50%	
経常的収入合計	3,093,504		3,136,947		3,090,829	
経常的支出合計	2,850,378		2,914,200		2,857,593	
(人件費)	748,307	24.2%	747,525	23.8%	835,885	27.0%
(扶助費)	253,818	8.2%	275,087	8.8%	291,153	9.4%
(公債費)	381,173	12.3%	359,878	11.5%	360,735	11.7%
(その他経費)	1,467,080	47.4%	1,531,700	48.8%	1,369,820	44.4%

基金残高の推移 (一般会計)

(単位：千円)

	平成26年	平成27年	平成28年
財政調整基金	987,203	1,014,042	1,019,237
減債基金	304,155	309,469	320,899
特定目的基金	681,949	605,460	584,510
基金合計	1,973,307	1,928,971	1,924,646

地方債現債高の推移

(単位：千円)

	平成26年	平成27年	平成28年
一般会計	4,554,802	4,620,824	4,923,936
公共下水道特別会計	3,144,601	2,823,017	2,477,966

普通建設事業費の推移

(単位：千円)

	平成26年	平成27年	平成28年
普通建設事業費合計	569,845	569,019	861,012

- したときはどうするのか。
A 労働保険に入っている。
Q 教育委員会、学校運営協議会の議事録はどうなっているのか。
A 議事録を出してなく失礼した、今後提出するようにする。
Q 小学校、教室等の今後の対応についてはどうか。
A 29年度以後の状況を見ると問題はないと思う。
- 特別会計 歳入・歳出**
- Q** 国保の未済額が多いのはなぜか。
A 期日までに納付できなかった人がいるため。
Q 国保が県に移管されたとき所得割、資産割はどうするのか。
A 県に移管されたとき、資産割は除く予定。
Q 国保利用の人はどのような疾病が多いのか。
A 全体的に癌が多い。次に心疾患。特定健診の受診率は34%。
Q 認知症対策はどうしているのか。
A 物忘れプログラム等実施し講習会も行っている。
Q 水道料の料金改定を考えているようだが町民への説明はどうするのか。
A 広報誌等で伝えていく。

防犯灯のLED化 始まる

【総務厚生常任委員会】

議案審議の主なもの

◆平成29年度早島町一般会計補正予算(第4号)について

― 歳入 ―

- Q 街路灯の破損で、弁償金692万8千円の詳細についての説明を。
- A 事故による分電盤破損、街路灯を含む故障による弁償金。



破損した街路灯と同型

― 歳出 ―

- Q LEDに付け替える防犯灯の調査委託料300万円はなにか。
- A 防犯灯が1500灯、街路灯約80灯合計1680灯で今年度は町所有防犯灯約500灯のLED化を予定している。
- Q 消防費で総合対策費の重要危惧費・燃料タンク新設を次年度へ繰越

しの理由は。

- A 倉敷消防局と協議をして、新年度に防火壁とタンク増設の緊急防災・減災事業債を充当して事業をするため、一旦取り消す。

- Q 戸籍住民基本台帳の電算処理委託料の378万円の詳細は。

- A 住民票・マイナンバーカード・通知カード・住基ネットなどの本人確認情報にわたって旧姓を記載することが、本人の申し出によってできることで各種のデータ修正、帳票の修正等の金額。

総務厚生常任委員会に付託されたその他の2議案については全会一致で可決すべきものと決した。

◆平成29年度早島町介護保険特別会計(保険事業勘定) 補正予算(第2号)について

◆平成29年度早島町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)(第1号)について

非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を全会一致で可決

【建設文教常任委員会】

議案審議の主なもの

◆非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

- Q 非常勤特別職職員とは。
- A 中学校の部活動の支援員を配置するための条例改正。
- Q 支援員はどのような方を雇用するのか。
- A 専門的な知識を持った方を公募し、教育委員会で面接し、学校教育課での研修を経て中学校に配置する。

- Q 部活動は教育の一環であり、教育的な立場での指導が求められる。
- A 安全や発達段階を十分考慮し、学校長が勤務実態や勤務報告書を毎月確認し、生徒へのアンケート等も行う。学校側の要望に沿って適宜配置する。

◆早島町一般会計補正予算(第4号)

- Q 公有財産購入費468万6千円の増額は。
- A 長津地内及び県の都市計画道路早島大砂線工事に関連しての大池地

内の交差点改良に係る土地購入費。
Q 早島大砂線の工事の進捗状況は。

- A 倉敷市境の工事を実施中で、地買収は6割ほど完了。平成30年度内完成予定であったが、遅れており県から延期が示される。
- Q 土木総務費の給料418万円はなにか。

- A 新規採用3人分の職給。
- Q 教育費 中学校費 備品購入費118万円は何か。

- A 職員室のエアコン2台の内1台故障したため、1台購入する。

陳情・請願

総務厚生常任委員会

特別養護老人ホームの開設を
求める陳情書 【採択】

建設文教常任委員会

教職員定数改善と義務教育費
国庫負担制度二分の一復元を図
るための、2018年度政府予
算に係る意見書採択の要請
【採択】

議員間の自由討議で議会活性化を

1、2期生議員が研修に参加

平成29年8月4日岡山県町村議長会主催の研修会が岡山県市町村振興センターで開催され1、2期生議員が参加しました。

川崎市議会事務局長横田優氏を講師に迎え、「地方議会の役割・一般質問のあり方を考える」をテーマに講演がありました。

講師から住民と議会の関係を始め、一般質問の質問権は議員固有の権限であり、発言は住民を代表していることを常に意識すべきである。また議員間の自由討議が議会活性化につながる、など改めて議員としての責務を再認識する研修会でした。



横田優氏の講演を熱心に聴講

平成29年7月～9月議会活動一覧

August 8 (8月)						July 7 (7月)					September 9 (7月)		
28	24	18	10	4	4	25	20	11	4	4	20	12	8
月	木	金	木	金	金	火	木	火	火	火	火	火	金
例月出納検査	監査委員研修会	農業共済事務組合議会	農業委員会	新任議員研修会	備南水道企業団議会	例月出納検査	県南5町正副議長会	農業委員会	備中地区3町議会 連絡協議会	岡山県町村議会 議員研修会	9月定例会(～29日)	全員協議会	議会運営委員会



佐藤 眞治 議員

問 中央公民館の建て直しの計画はあるのか

答 10月から有識者を含め来年に向け検討をしていく

中央公民館東側の倉庫について

問 軒のコンクリートが落下し鉄筋が露出して危険な状態。昨年前生涯学習課長とこの件で話をした際、「鉄筋コンクリート造では費用がかかるので、シート製のものを考えている」と言っていたが、いまだに動向が見えない。

改修なり新しく建て直すなどの考えはないのか。

答 副町長 現在は安全確保の観点から、コンクリートを撤去しコーンとロープで囲い、立ち入り



改修が待たれる倉庫

禁止の札を取り付けて立ち入らないように明示している。

解体し新設することを含め早急に検討し、来年度当初予算に組み込んでいきたい。

社会教育施設を含む町の管理する施設については危機管理意識を持ち、施設利用者の安全・安心に十分留意し、適切な施設管理に努めていく。

問 中央公民館の壁の改修問題を含め、建物の建て直しの計画はあるのか。

答 教育長 壁の改修や建て直しも含めて、新しい公民館のあり方について、10月から有識者を含め来年に向けて検討していく。

問 町ではすべての施設の定期的な点検を行っているのか。

答 教育長 定期的な点検も含めて危機意識を持って取り組み適切な管理に努めていく。

レンタサイクルについて

問 観光活性化手段として行って



新しい公民館のあり方を検討

いたレンタサイクルが長い間放置されていた。最近観光協会の会議のなかでこの話が出て、現在はこの制度は運営されておらず、直近10年の担当者は活用の覚えがないとのこと。いつまで実施していたか。

答 副町長 現在は運営していない。

問 貸し出しの実績は。

答 副町長 不明。

問 管理がいい加減ではないのか。

答 副町長 20年以上経過し当時の書類が残っていない。会議で話が出たあと即座に撤去した。今後とも町の施設管理については、万全の体制をとっていく。

Jアラートが作動されたが

問 Jアラートが作動されてから

3〜4分後にはミサイルが日本を通過。この短時間で避難ができるのか。町はどのような避難対策を考えているのか。

答 副町長 県内の自治体で、このJアラートによる情報が発令されるのは、近畿から中四国の上空を通過する場合とされている。

町としては早朝であれば、役場を含め公共施設、庁舎以外施設錠されており避難するのは難しい状況である。

窓から離れる、姿勢を低くして身を守っていたらいいことになる。

問 モーターサイレンや無線機の不具合が問題視されている。

モーターサイレンにおいては、聞こえない聞こえにくい時がある。移動系無線機は地域によって通じない。

早い対処が求められるが町は。

答 副町長 人為的なミスで作動しなかった時があり、そのようなミスが起きないよう注意を払い、今後とも定期的に機器の確認を行い、また電子サイレンの運用も行っていく。

答 総務課長 移動系の防災無線は場所等にもよるが、しっかりと検証し、いざという時に使えるようにしていく。



議員 徳 一 沼 浅

夏休みの在り方について

問 ここ数年夏休みが短縮される動きが全国的に広がっており、県内においても夏休みを短縮する動きが広がっている。県内の公立小中学校で3学期制の608校の内43%に当たる259校が8月中旬の2学期スタートとなっている。県教委によると、学習指導要領で定められた授業時間の最低基準は9月に2学期をスタートさせても確保できると述べている。

小中学校は今後夏休みを短縮するのかまた短縮する計画はあるのか。

答 教育長 学習指導要領に示されている授業時数は、法的根拠としての最低基準であり、授業時数の確保は各学校で責任をもって取り組むことが義務づけられている。本町では平成28年2月に学校管理規則を変更し、校長が教育上必要であると認める時は、教育委員会会の承認をうけて、学期の期間

小中学校は夏休みを短縮するのは

答 教育上必要であると認める時、校長が学期の期間を変更していく

を変更することができるとしている。子供たちに豊かな学びの機会を保障し、授業時数の確保と魅力ある学校行事など、特色ある教育課程を作成するよう、学校を支援していく。



避難所に指定されている施設等は災害時対応型に整備されているのか

問 本町の避難所指定場所でもある学校施設は地域住民の応急的な避難所としての役割を担って行くことから、必要な耐震性の確保に加え、避難所生活に必要な諸機

能を備えることが求められている。学校施設は、教育施設として設計されており避難所としての使用に配慮されていないため使用に際して様々な不具合や不便が生じる恐れがある。

断水時でも使えるトイレや停電時の電力確保、飲料水の確保、非常用物資の備蓄通信手段の確保、お年寄りや、車いす利用者ら避難に手助けが必要な人の利用が想定されることから段差の解消など災害対応機能は備えられているのか。

答 町長 災害対策基本法等の改正により避難所での必要な安全性の及び良好な居住性の確保、食料、衣料、医薬品等の配布など良好な生活環境の確保に努めることが求められている。

町が避難所に指定している小中学校体育館は耐震化を終えており昨年度、食料や生活用品、災害用簡易トイレなど分散備蓄することができた。またライフラインについては非常用発電機、LPガス災害対応バルクも設置している。

小中学校体育館の段差の解消及び対策は

問 小学校の体育館には段差があ

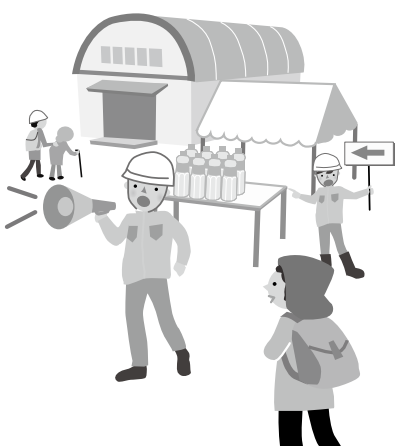
り、中学校の体育館は階段だがどのように解消、対策を講じるのか。

答 総務課長 小学校の体育館はスロープで対応する。中学校は2階に体育館がありバリアフリーについては今後の検討課題になる。高齢者、障害者の方々についてはバリアフリー化されている施設等に誘導ができるようしていく。

小中学校体育館にエアコン設置の考えは

問 暑さ寒さ対策で今後体育館にエアコン設置を。

答 総務課長 教育施設としてエアコンが要るかどうかが大前提になる。避難所としてはすぐに設置するという考えはない。エアコンのついた教室へ移動することで対策をしていく。





真鍋 和崇 議員

問 継続した計画的な水路整備を

答 本年度より継続的にすすめていく

問 町は農業振興地域（以下農振）の整備計画は定めたが未実施。計画としてやりきる姿勢が定まっていない。今年度の久々原地内の水路整備事業で幹線水路の整備はほぼ完成する。

引き続き主要水路を中心に毎年整備を進めることを求める。

答 水路整備は本年度より継続的に進めていく。その手始めに（幹線水路を）久々原駅から西、汐入川まで進めていく。



水路は農業経営の生命線。行政が主導した整備を求める。

認定農業者の確保と基準の見直しを

問 地域農業の担い手として認定農業者を確保し増やすことを町としてどう位置づけるか。

答 町長 現在9名。概ね10名前後で推移している。

問 年間農業所得目標について町は450万円だ。町の主作目の水稻でこの所得を出すには^{※1}約1500俵17haが必要だ。

実態に見合う目標にして認定農業者の門戸を広げること。

答 町長 一つの業としていくためにはこれぐらい必要。今後検討したい。

問 認定農業者への町独自の支援制度はない。施設増設・圃場整備等の経費や、新たな作物栽培を始めるための補助、町研修会の開催等、認定農業者への独自支援を。

答 町長 農地のあっせんによる規模の拡大、備南広域農業普及指

導センターの指導のもと、収益作物への転換を図るなど方策を検討している。

保育園の待機児解消のために

問 町は保育士一人当たり年間3万円の処遇改善を決めた。これで保育士確保は十分か。

答 町長 待機児童を解消するための検討委員会等の設置や関係機関と連携を図りながら取り組む。

保育園「育休退園」の見直しを

問 育休退園の問題点

①これまで築き上げてきた環境を一方的に寸断され「保育園に行けない」という急激な環境の変化についていけず、行動や性格の変化がおきることもある。乳幼児の発達のためには継続した環境だということ。

②退園しても必ず復帰できるわけではないということ

岡山市は深刻な待機児が発生する中「子どもの生活環境の変化を避けるため」と育休退園制度を見直した。

育休退園を利用しての「待機児問題先送り」でなく、待機児対策を強めつつ次年度から1歳児までの育休退園の見直しを。

答 町長 まず待機児童の対策のほうから進めたい。継続的に育休退園のことも考えたい。

小学校学童保育「産休退園」の見直しを

問 出産前後の妊婦は安静が求められる場合も多い。

町の学童保育は、年度途中に空きを待っている待機児童はいない。規定の見直しを求める。

答 町長 配慮すべきだが、家庭での保育、教育についても重要。

要望 家庭での教育が大切なものの家庭も同じだ。保護者の体調管理、そして何より子ども達の継続した発達を考慮いただきたい。

その他に、

「保育施設の将来計画の見直しを」「国保税の引き上げはすべきでない」等について質問しました。

※1 農林水産省統計（農林水産大臣官房統計資料）



佐藤 政文 議員

問 駅南倉庫の活用を考えるべき

答 農業用施設で駐車場には使用できない

問 立地の良い場所にある駅南倉庫の活用を考えてほしい。

前回6月議会の関連質問では、「駅南倉庫を活用する考えは今のところない。」との答弁。その理由として、「南北道路もなく、駅を隔てて夜になると真っ暗になり危険であるため、今は、活用は考えられない。ただ、南北道路完成後には考える。」とのことであった。

では、南北道路の完成予定はいつになるのか。今年度中、もしくは来年度中なのか。南北道路の完成は、かなり遠い将来の話ではないか。町の答弁として、頭から活用ができないと決めつけるのはおかしくないか。私は、「駅の近くで利用価値の高い倉庫や周辺の町有地を有効活用しないのは大変もったいない。」と考えている。今、行政が動くべきであると思う。できないと言うのであれば、今、倉庫には何が入っていて、これ以上入らないとか、倉庫周辺の土地は、



駅南倉庫

こういった理由で駐車場にはできない等の具体的に納得する理由を示されたい。

答 町長 当初から農業用施設の維持管理の資材とか、水路浚渫のための重機置場として活用し、現在敷地内には水路整備に関するコンクリート製品や一部工事で発生した再利用可能な資材などの保管に利用している。また、多量の資材が搬入される場合などの一時置き場として活用している。また、南北道路は駅全体のバリアリーの一環で申し上げた。

早島町の防災対策の現状は

問 今年になって、

各地で記録的大雨による被害が多発し、甚大な被害が出ている。わが町早島は、水路が多く、水に対しては非常に弱い町、町としての大雨の対応はどうか。



物的にも人的にも対策・対応は万全であると言えるのか。災害があった地方自治体の首長は、テレビインタビューを受けると、こぞって「想定外だ。」との言葉を発している。わがふる里「早島町」は、物的にも人的にも50年、いや100年に一度の災害にも万全であったと言えるよう、現在の町としての対策・対応の進捗を伺う。また、以前聞いた雨水タンク購入時の補助や公共施設に雨水タンク設置なども考えるべき課題になっているのではないか。

答 町長 早島町は低地が多いため、大雨による浸水被害が発生しやすい地形だ。現在は2か所のポンプによる強制排水で対応している。平成32年に完成予定の五間樋排水機場のポンプ能力向上事業

で、大隅樋門からの排水量増加で浸水対策に効果がある。雨水タンクは、よその例も研究する。

早島町立図書館の開館時間を早めて利便性向上を

問 現在、早島町立図書館の開館時間は、午前10時から午後6時となっているが、ゆるびの舎は、午前9時から開館している。ゆるびの舎が開館している時間には、図書館も開館してはいいかがか。近隣にない立派な図書館であり、平成27年6月17日の「教育のまち・早島」宣言もある。夢や志、思いやりをもった子どもたちの健やかな成長を支援する教育課程・環境を創造していくということもある。ぜひ有効に活用できないか。

答 教育長 今できることは、前日18時までには電話で予約の連絡をして頂き、翌朝9時から10時の間に本の貸し出しは可能。岡山連携中枢都市圏で相互利用が始まり、岡山市等からの利用増加が見込まれる。



早島町立図書館



平岡 守 議員

問 大和ハウス物流倉庫の稼働にともなう交通渋滞、安全対策を問う

答 町内の通行について安全な運行を申し入れた

問 無津交差点北、県道西側に大和ハウスの物流倉庫が建設され、10月から稼働となり交通渋滞が懸念される。またこの県道は通学路でもあることから、今後の交通渋滞、安全性についてたずねる。

答 町長 この物流倉庫は10月1日より稼働と聞いている。大和ハウスの方と話す機会があり県道に出入りする際や町内の運行について安全な運行を申し入れた。倉庫に入居の企業は2社で、1社の搬出時間は現在では9時から16時まで、もう1社は24時間稼働とのこと、ほとんどのトラックは国道2号方面からの出入りになると聞いている。

問 町として、この大和ハウスの物流倉庫が稼働した時、1日、どの程度の大型車輛、また小型車両が出入りするの、また時間帯についても24時間中どのような動きになるのか、それらは確認できているかお尋ねしたい。

答 副町長 1社はエディオン、



10月より稼働する大和ハウス物流倉庫

問 もう1社はキューソー、これはキューピー食品の関連会社で、お菓子類を中心で扱う。現在冷蔵設備がないため設備を整備したのちの運用で、今後どの程度の頻度で搬出搬入が行われるのはわからない。

問 若宮団地から無津交差点は、歩道はあるが、車両の飛び込み、

大型車の巻き込みを防ぐ対策、車道と歩道の間にはガードレールを設置する対策等が必要ではないか。さらに来年11月には敷地内に同一の倉庫が建設、稼働される予定と聞いている。ますますこれら対策が必要と感じる。

答 町長 まだ様子を見てみないとわからない点もあり、何かあるようなら強く申し入れし、改善をしていく。

空き家等の条例制定から半年経過後の運用状況を問う

問 3月議会において早島町空き家等の適正管理に関する条例が可決され4月1日から施行している。この条例制定後、半年を経過しているが、現在までの運用状況ならびに、空き家の件数について尋ねる。

答 町長 28年度に空き家実態調査をし、町内70件の空き家を確認、調査結果をもとに3回空き家等対策協議会を開催している。そのうち17棟を特定空き家と認定。17棟のうち9棟は危険と判断されたため、所有者等に事前通知を行い、連絡のない所有者に対しその後改善指導書の通知を行っている。残りの8棟については、特定

空き家の指定に関する通知等をしている。

問 空き家の所有者等に対し活用も含めアンケート調査を実施してはどうか

答 町長 政策として「空き家バンクへ登録して活用を図ってはいかがですか」ということを広報誌等で周知を行っている。

問 空き家除去補助金制度のこの半年間の利用状況は。

答 町長 一人の方が利用した。



永年放置されている空き家



子育てするなら「早島町」そう言われるまちであって欲しい。

問 町長は就任挨拶で「教育・子育て・医療・福祉や行財政改革に力を入れ、豊かさが実感できる町を目指す」と決意を示し、町政運営を行ってきた。丁度任期の半分となった中川町政の公約の検証を兼ね、自己評価と今後の方針を問う。

まず教育・子育てについてだが、①待機児童ゼロ対策は。②雨の日でも遊べる子育て拠点施設

教育・子育てについて



佐藤 智広 議員

中川町政の自己評価と今後の政策方針を問う

答 みなさんの知恵を借りながらまちづくりをおこなっていく

設の建設は。

③総合型地域スポーツクラブの設立は。

答 町長 ①検討委員会を立ち上げ、待機児童問題を解消していきたい。

②子ども子育て会議等の意見を聞きながら今後検討したい。

③来年度には設立準備委員会を立ち上げ、地域型スポーツクラブ設立を目指す。

医療・福祉・防災について

問 次に医療・福祉・防災について、①高齢者が交流できる「たまり場」は、当初は高齢者も現役世代も子どもたちも気軽に集える場所と認識しているが、実態は週一回、地域で集まって開催される「百歳体操」になっているように思えるが。

②早島駅周辺の整備とバリアフリー化は、その時に備え、基金の創設や施策を検討してはどうか。

③生活道路整備と通過交通対策

としての駅前バイパス線は実現するのか。

答 町長 ①老若男女が集えるような場所になれば良いと思うが、現在は高齢者の介護予防に重点を置いている。

②28年度乗降客は2362人と、前年度106人増となった。いずれにしても、3千人/日に増やすことが重要な課題だと考え、引き続きJRと協議をしていく。

③早島駅周辺整備と併せ、都市計画道路駅前バイパス線も一体的かつ、総合的に検討していきたい。

地域間連携について

問 次に地域間連携として、早島の特性と魅力を活かす「道の駅」の誘致をあげているが、以前、地域の賑わい創出を目的とした拠点施設を考えていると述べていたが、その後の考えは。

答 町長 「道の駅」は広大な面積の用地確保と莫大な費用を要することから困難ではあるが、現在、持続可能なまちづくりを進めるための羅針盤となるランドデザイン作成に取り組んでいる。その中で、クロスポイントという本町の特性を生かした広域交流拠点機能の導入を目指したい。

経済が元気な早島について



地域の魅力を見つけ、人・モノ・文化の交流を生み出す拠点。

問 最後に、経済が元気な早島について①地場産業・中小企業への融資や雇用を支援についてだが、融資や支援制度を倉敷市並にはできないのか。

②農業の地産地消と6次産業化の推進はどこまでできているのか。

答 町長 ①行政規模の違う、倉敷市と同じとはいかないが、実情を踏まえた地場産業、中小企業への支援をしていく。

②現在、学校給食において地産地消の取り組みをおこなっている。また、6次産業化も県の農業改良普及所などの協力を得ながら進めていきたい。



松森京子議員

問 ヘルプカードを導入してはどうか

答 平成30年度から導入する

問 ヘルプマークは義足や人工関節を使用し、内部に障がいを持たれている方、妊娠初期の方、精神障がいを抱えている方等、配慮や援助が必要な方（日常生活の中で困ったときに周囲に理解や支援を求め）を対象としている。

外見ではわからない障がいや、難病を抱える人たちが外出先（避難所等）で周囲に手助けを求めやすいヘルプマーク・カードを導入してはどうか。

答 町長 近隣の市町村の取り組みの事例を研究し、平成30年度から導入していく。



小・中学生に認知症教育を

問 平均寿命が延びてきたわが国では、今後多くの方が認知症になることを心配されている。

認知症といえば、高齢者というイメージがあるが、現在では若年性認知症（18歳から65歳までの間に発症する）で4万人以上の方が治療されている。

全国で認知症予防の取り組みがされているが、認知症になったときの取り組みも大事と考える。

先には認知症があると理解している子供は少ない。子供たちに何を伝え、どうあってもらうことが認知症者にとって住みやすい環境なのか、小・中学生に認知症教育はされているのか。

答 教育長 将来担い手となる児童・生徒が認知症を正しく理解することは重要なことであり、徘徊高齢者を守っていく地域づくりには、早い段階での意識づけが大切だと考える。

本町の小・中学校では、総合的な学習の時間で福祉について考え、理解を広げている。今後も認知症の方が自分らしく暮らせる社会を目指して前向きに取り組む子

供たちを育てていきたい。

高齢者にQRコードラベルの配布を

問 認知症の人を地域ぐるみで支え合っていくことが大事である。徘徊される高齢者を早期発見するため、事前に登録した高齢者の方にQRコードラベルを配布してはどうか。

答 町長 本町は昨年、早島町認知症高齢者等見守り徘徊ネットワーク事業を立ち上げ、今年度模範訓練を行った。徘徊については、二次災害など懸念され、いかに早く発見するかが重要と考える。

認知症に対する正しい知識の普及を行うとともに、QRコードも含め有効な手段を検討したい。



赤ちゃんの駅設置を

問 町内で赤ちゃんの駅はゆるびの舎に1か所と確認している。

以前の一般質問に、安全、衛生面等課題があり、検討したいとの



答弁だったが。

答 町長 図書館、ぞうさん広場の利用者の方にはご利用いただいているが、PRが足りないと感じている。広報誌やホームページなどで場所や使用目的をPRしていく。

問 今夏の花火大会で、若いお母さんがグラウンドの隅っこで赤ちゃんをバスタオルで隠し、熱い中を授乳されていた。荷物も多く、赤ちゃんの駅を探すのは大変である。移動式赤ちゃんの駅を提供してはどうか。

答 町長 安全・衛生面などの配慮が必要。しかし気軽に外出できるように、安心して子育てを支援することは重要。ニーズに合ったサービスを展開していく。



小池 宏治 議員

問 2年間で公約の行財政改革断行と今後の見通しはどうか

答 社会保障関係費の増大と老朽化対策で大変厳しい

問 行政経験があるから取り組める改革で、行財政改革断行と徹底して無駄を排除し未来に投資します。そしてできることをやる役場から、これからはやらなければならぬことを実行する「闘う政策集団」に変えますと断言されているが、2年間でどの程度断行されたのかその内容を問う。

答 町長 早島町の財政状況は財政の硬直化は若干改善したが、扶助費を中心とする社会保障関係費が右肩上り、更にインフラ施設の維持管理費の増大。老朽化対策等で財政運営は大変厳しい。

職員の服務規程の順守

問 先般続けて職員の不祥事が起こったが何故なのか。職員の服務規程があるが順守されているのか、どこに問題があつて起きたのか。しっかり調査したのか。

答 町長 基本的にはコンプライアンス、法令遵守、その根本が不祥事を起こした職員には欠けている。

問 超過勤務の多い部署があり、過去3年間見ても結構多いが、何とか他の部署からの応援とか対応できなかったのか、仕方がないと思われたのかお聞きする。

答 町長 超過勤務の問題は、今、国が働き方改革ということで、何が大切で省けるものは何か、合理的にできるものは何か等、改善も含めて指針を出させていただいで、もう一度きちっと仕事の内容を見直して、仕事の働き方を改めていくようやっている。

超過勤務について

た。職員（公務員）は基本的に日本国憲法を遵守とあり、その基本を忘れていた。今一度再認識していただくため、職員研修をこれからもやっていく。

問 超過勤務の多い部署があり、過去3年間見ても結構多いが、何とか他の部署からの応援とか対応できなかったのか、仕方がないと思われたのかお聞きする。

答 町長 超過勤務の問題は、今、国が働き方改革ということで、何が大切で省けるものは何か、合理的にできるものは何か等、改善も含めて指針を出させていただいで、もう一度きちっと仕事の内容を見直して、仕事の働き方を改めていくようやっている。

人事評価について

問 人事評価については27年度に試行的に導入し、28年度から本格的に導入されて2年が経つが、町

はどのようになっているのか。



改革にスピード感を

はどのようになっているのか。

答 町長 組織は地方創生という新しいジャンルが入って、まちづくり企画課に地方創生推進係を設け、全般的に各課と連携をとってやっていくという体制をとらせて今やっている。人事評価については最終的には現在県が行っているように、手当てにも一部反映する辺りまでトータルに考えていきたい。

職員の退職金について

問 国が国家公務員の退職金を3%減額した。町は国の退職金規程と合わせてその内容がわかれば

教えていただきたい、また今の退職金を下げる方向か。

答 副町長 国が退職金3%高いという評価が出たら町でも判断する。現時点ではまだ結論は出てない。

組織体制の最適化について

問 最適化とは、特別の目的に最適の計画・システム設計することとあるが、地方創生等がそれにあたるのかどうか。

答 町長 世の中の仕組み、社会の制度も変わってきて、それに対応して仕事ができる、それが私の最適化で、その1つが地方創生でその時々に合わせて係・課を変えて対応していきたい。

農業の地産地消と6次産業化の推進

問 公約で農業の地産地消と6次産業化を推進しますとあるが状況はいかがか。

答 町長 農業の問題はつくり手、土地を持って農業をされる方、耕作を受けられている方、農協の指導等々いろんな問題があつて難しい面が出ていますので検討してまいります。

民生・児童委員紹介

担当地区
写真
氏名

民生委員は生活上の困りごとに対する最も身近な相談相手です。また民生委員の中から、子どもや児童福祉に関する相談支援を専門的に担当する主任児童委員が指名されています。

矢尾・イトーピア



はやし ひでか
林 日出香

日笠山・官舎



みがき ともみ
三垣 友實

若宮



ふくとみ ともこ
福富 豊子

若宮



もり あやこ
森 綾子

無津



さとう かずたか
佐藤 和孝

真磯台



ともなが ひであき
友永 秀昭

塩津



やすはら まさお
安原 雅夫

市場



わたなべ あきら
渡邊 旭

市場



なんぼ まさこ
難波 真子

塩地・花町・小浜・頓行



さとう まさひろ
佐藤 政弘

中山



つづみ ただゆき
堤 忠行

大池・ニュー早島



てらやま やすこ
寺山 泰子

金田・下野・備南台



みずはた ひろみ
水畑 宏美

噂島



こまい けんじ
駒井 賢二

長津・畑岡



さとう かずよし
佐藤 一義

宮崎・弁財天



おおもり まりこ
大森 真莉子

舟本



おがわら きよし
小河原 清志

片田



ろくたに けんそ
六谷 建三

三軒地・久々原



よこやま としかず
横山 敏和

前潟・下前潟



おおた みちこ
太田 道子

前潟・下前潟



おのだ しゅうさく
小野田 修作

主任児童委員



ちくご よしかつ
筑後 義勝



てらやま ちか
寺山 千津嘉

◆編集後記◆

議会だよりも58回を迎え、あと2回で発行数60回の還暦を迎えます。編集作業で最も時間を費やすのは、限られた紙面の中に議会でのやり取りを要約することです。日本語の表現は様々あり、また、人それぞれの話し方には個性があります。録音テープから原稿を書き起こす際に、同音異語に悩むこともたびたびです。思い込みで表現を替えたことで本人の意図したものは全く異なった内容になってしまうこともあります。「正しく伝えること」の難しさを痛感します。言論の府と呼ばれる議会から正確な情報を発信すべく、また、町民の皆さんに「読んでもらえる、読みたくなる紙面作り」に今後も心がけ、議会だよりの充実に努めてまいります。

議会広報特別委員会